教員志望

CAREER SUPPORT GUIDE 2023

教員をとりまく最近の就職事情

教員採用試験について，近年の最も大きな傾向は，面接試験などにより人物評価と実践力をより重視する流れにあります。通常の個人や集団の面接以外に，集団討論，模擬授業，場面指導やグループワークなど実践力を問う試験が多くの自治体・私立学校で実施されています。

採用選考方法の変更動向には特に注意が必要です。文部科学省は，2024年度の導入目標として，教員採用選考試験の早期化の方針を示しています。2024年度の試験は1次試験の実施が早まることを想定し，早期の学習開始・対策が要されます。また，東京都教育委員会は「令和5年度東京都公立学校教員採用候補者選考（6年度採用）における選考方法の見直しについて」として，「大学3年次での前倒し受験」や「合格発表の前倒し」を公表しています。志望する各教育委員会・学校のホームページをこまめに確認しておきましょう。

さらに，学校教育が抱える課題も複雑・多様化する現在，社会状況の変化などに適切に対応できるよう，これまで以上に新たな知識や技術を補完していくことが教員として重要な課題となります。

Contents

教員を知ろう！ CHAPTER 1

教員とは 2
教員の仕事について 2
教員に求められる資質能力 3
現職の話 4

教員になろう！ CHAPTER 2

教員になるには 8
教員免許状（教育職員免許状）の取得 8
教職課程について 9
2023年度実施 教員採用試験のスケジュール 10
教員の種類（公立） 12
教員の種類（私立） 13
臨時採用教員について 14
臨時的任用教員（常勤講師）と
非常勤講師 14

教員採用試験 CHAPTER 3

教員採用試験の内容 16
近年の試験傾向 16
学習ポイント 16
出願書類・自己PRの書き方 17
筆記試験 18
面接試験 20
適性検査 21
教員志望者へのサポート体制 22

データ・情報編 CHAPTER 4

内定者インタビュー（合格に向けて） 26
Q & A 31
過去3年間の就職実績 32
就職指導課・キャリア
支援センターを活用しよう 33

CHAPTER 1

教員を知ろう！

- 教員とは
- 教員の仕事について
- 教員に求められる資質能力
- 現職の話

教員とは

教員とは「学校で児童・生徒・学生を教育する職務についている人」です。

現在，国公私立の小学校・中学校・高等学校の教員数は約90万人。そのうち小学校が約41万人，中学校が約25万人，高等学校が約24万人と多くの人が教員として働いています。ひとくちに教員といっても，教育する対象の違い（小学生や中学生など），教科の違い（数学，理科など），採用方法の違い（専任か非常勤など）などにより数多くの種類に分けられます。

学校の種類

学校は，学校教育法によると次の9種類に分類されます。

- 幼稚園
- 小学校
- 中学校
- 義務教育学校
- 高等学校
- 中等教育学校
- 特別支援学校
- 大学（大学院・短期大学）
- 高等専門学校

学校で教員として働くためには，それぞれに必要な免許状を取得しなければなりません。免許状の詳細については，P.8〜9を参考にしてください。さらに教員としての働き方は，公立学校か，私立学校かという選択もあれば，臨時採用，非常勤講師といった採用方法による違いもあります。公立学校についてはP.12，私立学校についてはP.13，採用方法の違いについてはP.14を参照してください。

教員の仕事について

実際に教員の方々はどのような仕事をしているのでしょうか。

皆さんがお世話になってきた小学校・中学校・高校の先生方が，ただ授業だけをしているかと思ったら大間違いです。一番大事なのは授業ですが，教科指導以外にも事務仕事や生徒指導，部活の顧問，保護者対応等々…ここではあげきれないほどの様々な仕事をしています。これらの仕事を勤務時間内に終えるのは大変難しく，多くの先生は遅くまで残業をしているのが現実です。大変な仕事ですが，先生としての誇りややりがいを感じ，第一線で活躍している理工学部の先輩はたくさんいます。P.4〜6では専任教員として活躍されている先輩のお話を掲載しています。先輩のお話を参考に，自身の教員像を見直してみましょう。

教員に求められる資質能力

文部科学省に置かれている中央教育審議会において，求められる資質・能力を次のように示しています。日本の将来を担う子どもたちを教育する重要な職業です。

いつの時代も求められる資質能力

- 教育者としての使命感
- 人間の成長・発達についての深い理解
- 幼児・児童・生徒に対する教育的愛情
- 教科等に関する専門的知識
- 広く豊かな教養

→ これらに基づく実践的指導力

→ 学び続ける教員

優れた教員の3要素

教職に対する強い情熱

教員の仕事に対する使命感や誇り，子どもに対する愛情や責任感など。
また，教員は，変化の著しい社会や学校，子どもたちに適切に対応するため，常に学び続ける向上心を持つことも大切です。

専門職としての高度な知識・技能

教科や教職に関する高度な専門的知識（グローバル化，情報化等）や，新たな学びを展開できる実践的指導力（基礎的・基本的な知識・技能の習得，それを活用する学習活動や課題探求型の学習，協働的な学びなどをデザインできる指導力）及び，教科指導・生徒指導，学級経営等を的確に実践できる力が必要になります。

総合的な人間力

教員には，子どもたちの人格形成に関わる者として，豊かな人間性や社会性，常識と教養，礼儀作法をはじめ対人関係能力，コミュニケーション能力などの人格的資質を備えていることが求められます。また，教員は，他の教員や事務職員，栄養職員など，教職員全体と同僚として協力していくことが大切です。

今後特に求められる資質能力

自律的に学ぶ能力

- 時代の変化に応じて求められる能力の高度化
- 情報の適切な取捨選択・活用
- 知識を有機的に構造化

新たな課題に対応する能力

- アクティブラーニングの視点からの授業改善，道徳教育の充実
- ICTの活用
- 発達障害を含む特別な支援を必要とする生徒等への対応

協働する能力

- 多様な専門性を持つ人材との連携・分担
- 教科等を越えた「カリキュラム・マネジメント」の実現

※文部科学省ホームページから抜粋

POINT

教育者として，教養や知識も必要ですが，「やる気」や「情熱」といった熱い気持ち，そして自分自身の人間力が問われます。このほか，各地方公共団体においてもそれぞれの「求める教員像」を公表していて，面接でも問われることもあるのでホームページなどで確認しておきましょう。教員とはなにか，今どんな教員が求められているか，自分自身でじっくり考えてみましょう！

★続きは【教員試験対策クラスルーム】にて公開中！（在学生専用）
先輩のインタビューや試験対策のポイントが掲載されています。